

学齢WG専門委員会提言を受けての事業計画（案）

「子ども子育て支援計画」に関わる計画

子

「次世代育成計画」に関わる計画

次

1. 児童館のアピールについて

	学齢部会専門委員会での意見	事業名	新規 既存 (区の計画リスト)	事業内容(案)	目標 備考
1	児童館でも乳幼児事業を行っていることをもっとPRすべき。 児童館の拠点としてのイメージ発信、人が来て結びついてまた広がるという発信が必要。	子育てに関する区ホームページのコーナーの作成	182	子ども・子育て支援に関する情報をわかりやすくみることが出来るコーナーを区のホームページの中に作成し、利用できるようにしましょう。コーナーの中には、児童館での乳幼児事業の取組も紹介します。	既存事業の 拡充
2	児童館は地域の子どもたちと学齢の放課後を支えていることを、もっと知ってもらう必要がある。	いきいき子育てガイドブックの作成	188	出産準備や乳幼児の子育て、家庭教育、虐待防止、子育て支援の施策など、児童館での活用等も含めた、子育ての参考となるガイドブックを作成し、出産時等に配布します。	既存事業の 拡充

次

次

2. ひろば事業の見直しについて

	学齢部会専門委員会での意見	事業名	新規 既存 (区の計画リスト)	事業内容(案)	目標 備考
3	“ひろば”事業は拡充する必要がある。 児童館でも“ひろば”を行っていることをもっと知ってもらう必要がある。 区の乳幼児事業は、事業への親の参加を促す活動も含め、何を目的として活動しているかをはっきりさせる必要がある。 “ひろば”のネットワークを強化することが必要である。	子育てひろば (地域子育て支援拠点事業)	61	地域の子育て家庭を支援するために、子育てひろば(両国・文花)、児童館等で行われている、子ども同士、親同士の交流や仲間づくりの促進、育児講座等の啓発活動、子育てに関する相談活動の拡充を図ります。また子育ての地域拠点としての機能を強化する為、“ひろば”に係るネットワークの強化を図るとともに、子ども総合支援センターの機能、役割等の見直しを図ります。	既存事業の 拡充・改革
4		児童館の乳幼児事業 (居場所づくり)	67	地域の子育て家庭支援のために、児童館等で子ども同士、親同士の交流、親の事業への参画や仲間づくりの促進、育児講座等の啓発活動、子育てに関する相談を行います。	既存事業の 拡充

子

子

3. 児童館職員の質の向上について

	学齢部会専門委員会での意見	事業名	新規 既存 (区の計画リスト)	事業内容(案)	目標 備考
5	これからの児童館職員は、参加型だけでなくコーディネート型の資質が必要である。 児童館活動にボランティアの人材を確保することは重要なことである。その為にも子どもの親や子どもと触れ合う地域の人がボランティアとして児童館活動に参加してくれるよう、ボランティア・コーディネーターとしての役割を職員は果たすことが求められている。 児童館館長会の研修担当を通じて発表会を行っているが、学童クラブ・児童館・コミュニティ会館・民間も含めて一つの研修会が出来ると良い。 他の施設との交流を通じての研修は、理念的ではなく、実践的・効果的な研修であり、必要である。	(仮)児童館・学童クラブ等職員の合同研修	新規 (既存 1 の拡充)	児童館の各活動への活用と充実を図り、また、児童館が地域の子どもとの拠点となるよう、児童館職員の質の向上と情報交換のため、合同による研修を実施します。 学童クラブ指導員の研修による資格取得を促進します。	年回

次

4. 地域子育て拠点事業と児童館について

	学齢部会専門委員会での意見	事業名	新規 既存 (区の計画リスト)	事業内容(案)	目標 備考
6	地域子育て拠点事業は、どういう場所で、どのような事業・プログラムを展開するのか？ 墨田区の児童館は、乳幼児事業から相談事業まで幅広く展開しており、既に拠点になっているのでは。 子どもや親に、児童館職員が区のサービスについて案内出来るようになれば、さらに拠点的功能を果たす。	(仮)子どもの保育・健全育成コンシェルジュ事業 (地域子育て支援拠点事業)	新規	「子育て人材育成・活用ネットワーク化事業(既存 156)」等を受けつつ、保育専門相談から健全育成相談まで出来る相談専門窓口を、全児童館に配置し、保育を希望する保護者や小中学生の保護者の相談に応じ、個別のニーズや状況に最も合うサービス等の情報提供を行います。	年回
7	児童館で、子ども・子育て、健全育成に関わる利用サービスのプランニングが立てられないか。墨田区でもケアマネジャーの子育て版の仕組みを検討してはどうか。 児童館内にコンシェルジュ機能が必要である。	保育コンシェルジュ事業 (利用者支援事業)	H25年試行 H26年実施 拡充	「育児相談・出張育児相談(既存 49)」等を活用し、保育専門相談員(保育コンシェルジュ)が、保育を希望する保護者の相談に応じ、個別のニーズや状況に最も合う保育サービスの提供を、児童館に於いても可能となるように図ります。	既存事業の 拡充(範囲と人員の 確保)

子

次

子

5. 地域の子育て拠点施設

	学齢部会専門委員会での意見	事業名	新規 既存 (区の計画リスト)	事業内容(案)	目標 備考
8	<p>幼保小中連携の必要性からは、子育てから福祉課題まで取組む児童館等をネットワーク化した拠点的な機能の強化を図ることが必要である。</p> <p>要保護対策も含め青少年までの対応は、どのような場所で、どのような事業・プログラムを展開するのか？</p> <p>両国と文花の子育て広場は、親子で遊びながら親同士、子ども同士が交流し、子育てに関する悩みを話し合ったり、情報交換ができる場所として拠点的な役割をはたしているが、児童館もそうした活動をしている。子ども総合支援センターの機能も含め、拠点のネットワーク化を図ることが必要である。</p>	(仮) 拠点のネットワーク化と子ども総合支援センターの機能強化	新規	虐待や子どもの貧困等の要保護児童対策の専門的対応も含め、地域の子育てのネットワークの拠点としての子ども総合支援センターの機能の拡充を図り、総合的な解決が可能な施設。	

次

6. 放課後の居場所について

	学齢部会専門委員会での意見	事業名	新規 既存 (区の計画リスト)	事業内容(案)	目標 備考
9	<p>放課後も子どもが安らいで過ごせる場所が必要。それは、親の就労状況からも求められる。</p> <p>放課後も子どもを学校の中に困ってしまう学校の放課後プランは、子どもにとっては懸念されることである。</p> <p>墨田区の児童館は放課後の子どもの学習支援も行っている。学校の放課後プログラムへの児童館からの応援は可能で、実際にはさくら橋で実施している。しかし、そういうところは、自由な行き来があって、重層的な支援がある中で出来ることと思う。</p>	(仮) 小学校教員・児童館(学童クラブ)職員の交流	新規	子どもの放課後の居場所へ、小学校教員と児童館(学童クラブ)職員が交流して相互で補助的な役割を果たす中で、学級運営等に活用する。	年回
10		学校支援ネットワーク事業	135	教育委員会事務局内に設置した「学校支援ネットワーク本部」に、学校と学校支援ボランティアや児童館等をつなぐ役割を担う「地域コーディネーター」を配置し、教育活動に地域人材の積極的な活用を図っていきます。	既存事業の拡充(対象の拡充)
11	<p>高学年の学童クラブ利用は未知数で状況が読めない。</p> <p>希望する高学年を学童クラブに登録させているが、来館回数が少なく、特別会員として低額にしている。</p>	(仮) 高学年の放課後の居場所の確保	1児童館事業の拡充	児童館においては、育成者による管理のもと、遊びや地域との交流を通じた育成を日常的、自由に図れるようにするとともに、学童クラブにおいては、特別会員として登録し、希望する日に来館できるようにする。	

次

次

子

次

7. 連携の必要性について

	学齢部会専門委員会での意見	事業名	新規 既存 (区の計画リスト)	事業内容(案)	目標 備考
12	<p>児童館は、人と地域とが“集まる”・“つなぐ”・“つながる”、の中間的機能をもっているし、そうした機能を強化する必要がある。</p> <p>保育園と児童館はひろば事業で繋がっているが、保育園との連携強化は一層、必要なことである。</p> <p>全区的な幼保小中の連絡会はあるが、幼保小中の連携に福祉的視点を入れ、児童館も連携に入ることが大切ではないか。</p>	幼保小中一貫教育の推進(すみだ教育研究所)	25	子どもたちの健全育成や学力向上を図るため、幼稚園(保育園)、小学校、中学校の各課程への移行を、児童館事業も活用しながら円滑に接続し、子どもたち一人ひとりの発達に応じたきめ細かい教育を系統的・計画的に進めていきます。	既存事業に児童館を含める
13	<p>要対協は、児童館の学習支援はありがたいことであるとの認識を持っている。要対協との連携も必要なことである。</p> <p>学童クラブ・児童館・コミュニティセンター・民間を1つとした協議会を設立し、連携した研修等を実施したい。</p> <p>区には、連携システムを後押しして欲しいし、情報交換の場等も設置してほしい。</p>	学童クラブと放課後子ども教室との連携	新規	共働き家庭等の「小一」の壁を打破するとともに、次代を担う人材を育成するため、全ての就学児童が放課後等を安全・安心に過ごし、多様な体験・活動を行うことができるよう、一体型を中心とした放課後児童クラブ及び放課後子ども教室の計画的な整備をすすめる。	子ども課と生涯学習課との協議事項
14		(仮) 墨田区子ども・子育て・健全育成連絡協議会の設立	新規	児童館・学童クラブ等の連絡協議会を設置し、学校連絡協議会、青少年育成委員会、要保護児童対策地域協議会等の既存の各組織との連携を図りつつ、情報交換や研修などを通じて、墨田区の子ども・子育て、健全育成の促進を図ります。	

次

子

次

次

8. 「放課後総合プラン」について

	学齢部会専門委員会での意見	事業名	新規 既存 (区の計画リスト)	事業内容(案)	目標 備考
15	<p>児童の放課後の過ごし方には、教育や福祉も含めた色々な関係者の連携が必要である。</p> <p>国から出された「放課後総合プラン」についての具体的な方策も検討する必要がある。</p>	(仮) 「総合教育会議」と連携する「墨田区子ども・子育て・健全育成連絡協議会」の運営	新規	新たに設置される「総合教育会議」のもと、教育や福祉などの多様な機関と連携する(仮)「墨田区子ども・子育て・健全育成連絡協議会」が、墨田区における総合的な放課後対策の在り方について十分な協議を行い、指針を示す。	

次

9. 墨田区児童館の在り方について

	学齢部会専門委員会での意見	事業名	新規 既存 (区の計画リスト)	事業内容(案)	目標 備考
16	<p>“子どもの健全育成とは”、墨田区の“児童館は何を目指すのか”といったことのビジョンが必要である。</p> <p>期待される“児童館とは”、次世代の“児童館機能とは”といった事を明らかにし、行政も区民も共有する必要がある。</p> <p>児童館は、次世代育成計画の核と成りうるし、次世代育成計画の沢山のプログラムを結びつけていく“ノット”(結び目)の役割を果たすところではないか。</p> <p>児童館は、中高生のたまり場、幼児連れのお母さんが遊びに行く所、学童の子が行く所といった固定のイメージから、例えば、“子どもが豊かに育つまち”づくりの子ども総合センターであるといったイメージを戦略的に示す必要がある。</p> <p>児童館についての教育関係者等との協働のシンポジウムを持ちたい。</p>	<p>(仮)墨田区・次世代に向けた新児童館構想策定調査</p> <p>(仮)墨田区・次世代に向けた児童館の在り方についてのシンポジウムの開催</p> <p>(仮)墨田区“児童館祭”の開催</p>	新規	<p>学齢専門委員会の提言を受け、10年、20年先を見据えた墨田区児童館の在り方の指針を示すため、検討委員会等で構想策定を行う。</p> <p>上記構想策定調査の一環として、教育関係者や児童福祉関係者、そしてまちづくりに関わる幅広い分野の専門家・区民とによるシンポジウム、及び、墨田区全児童館による児童館祭を開催し、地域の人との交流や児童館のPRを行う。</p>	<p>平成27年度</p>

次